



国連人口基金

「世界人口白書 2016」

10歳の女の子に関する10の事実

1. 現在、世界には約6,000万人の10歳の女の子がいます。そのうちの約3,500万人は、ジェンダー間の不平等が高い国に住んでいます。
2. 10歳の女の子のエンパワーメントに対する投資は、女の子が得る生涯収入を3倍にし、国の経済成長を促進し、健康で十分な教育を受ける子どもの成長のサイクルを確立します。
3. 女の子の教育は世界で最も良い投資であるにもかかわらず、就学年齢を迎えた6,000万人の思春期の女の子は教育を受けられずにいます。
4. 女の子が学校に1年長く通うごとに、生涯の収入が10%ずつ増えます。
5. 開発途上国に住む18歳以下の女の子のうち、1日に約47,700人が結婚しています。
6. 6歳から11歳の女の子のうちの1,600万人は、一生学校に行くことはありません。この数は、同じ年の男の子の2倍です。
7. HIV/AIDSは、思春期の女の子の死因の第1位です。2番目の原因は自殺です。
8. 10分に1人、思春期の女の子は暴力が原因で命を落としています。
9. 10歳の女の子は、児童婚、女性性器切除(FGM)、強制的な結婚、意図しない妊娠、また教育の否定といったジェンダー不平等を要因とした暴力にさらされています。
10. 中等教育を退学する理由として、3分の1を占めるのは児童婚です。加えてそれは、人口増加と女性の賃金を低下させるといった負担を社会にかけます。

世界における 10 の現実

1. インドでは、思春期における妊娠、中等教育における高い退学率と、若い女性が就職できないために、毎年 560 億米ドルの潜在的収入が失われています。
2. アジア・太平洋地域では、男女の数は女の子 100 人に対して男の子は 111 人です。
3. サハラ以南アフリカには、世界における未就学の子どもの 55%と、同じく未就学の思春期の子ども 52%が住んでいます。
4. ニジェールだけで、児童婚をなくせば、2014 年から 2030 年の間に 250 億米ドルを超える恩恵があります。
5. 西・中央アフリカでは、中等教育を受ける子どもの数は、男の子 10 人に対して女の子 8 人です。
6. 今日のモロッコとコスタリカに住む教育を受けた健康な女の子は、中等教育を受けておらず健康体ではない同い年の女の子よりも、25 歳になるまでに 3 万米ドル多く収入を得ます。
7. ラテン・アメリカとカリブ海地域は唯一、中等教育を受けている女の子が男の子を上回っている地域です。
8. エチオピアでは、中等教育を受けている女の子は、男の子 10 人に対してたった 6 人です。
9. サハラ以南のアフリカ諸国では、15 歳から 19 歳の女の子は、男の子と比べて HIV 感染の可能性が 5 倍も高くなっています。
10. トルコに住む 10 歳の女の子は 653,000 人います。教育を受けた健康な 10 歳の女の子は、中等教育を受けておらず健康体ではない同い年の女の子よりも、25 歳になるまでに 6,100 米ドル多く収入を得ます。